

運用イメージ

医療救護活動拠点が情報連絡の中核を担い、発災後、積極的に情報収集に努める。  
 医療救護所においては、発災直後（発災～6時間）は、医療救護活動拠点が各要員の情報を集約するが、超急性期（6～72時間）以降は、区要員グループが情報を取りまとめたうえで、医療救護活動拠点に報告または要請することとする。

